

令和5年度 第2回 茨木市都市計画審議会

令和6年1月29日

次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

市決定案件

議第142号 北部大阪都市計画駐車場の変更
(春日丘高校地下駐車場)

- 1 駐車場の概要
- 2 供用廃止の検討経過
- 3 都市計画の考え方
- 4 スケジュール

1 駐車場の概要

○経過

平成13年5月
(2001年)

当初都市計画決定(市決定)

- ・JR茨木駅周辺の路上駐車対策として、公共駐車場整備が課題
- ・公共施設の有効活用の観点から、校舎の建替えを予定していた、大阪府立春日丘高校の地下が敷地として選定
- ・都市計画決定後、府において整備

平成18年4月
(2006年)

府営駐車場として供用開始

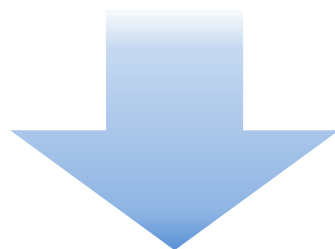
○都市計画決定の内容

名称	春日丘高校地下駐車場
位置	茨木市春日一丁目、二丁目地内
面積	約2,900m ²
構造	地下2層構造(機械式)
備考	約160台収容 利用者、車両出入口 各1箇所



○課題

- ・令和3年度に指定管理者の公募を実施するが、応募者無し
- ・開業から10年以上経過し、機械整備の維持管理コストが増加しており、近年の収支は赤字



➤大阪府の対応

令和4年	需給バランス調査の実施 ・当該駐車場を廃止しても、周辺の民間駐車場で駐車場を賄うことが可能と判断
令和5年3月	府議会(令和5年2月定例会)において、 駐車場条例改正(当該駐車場の廃止)が可決
令和5年3月末	当該駐車場の供用廃止

○駐車場の需要と供給

⇒需給バランス調査の結果、駐車場の供給が上回る状況で、

将来的にも駐車場の不足は生じない予測

■需給バランス調査(当該駐車場から概ね半径500mの範囲で調査)

	需要量 (ピーク時間帯の駐車台数)	供給量 (駐車可能台数)	需給バランス※1
調査時(令和4年)	575台	791台	73%
将来(令和16年)	592台 ※2	680台 ※3	87%

※1 需給バランス(%)

= 需要量(ピーク時間帯の駐車台数) / 供給量(駐車可能台数)

100%未満であれば、周辺駐車場のみで需要を満足できることを表す

※2 令和4年の需要量に平成2年,12年,22年のパーソントリップ調査で得られた当該地域の自動車交通集中量の伸び率(1.03)を乗じて算出

※3 将来の供給量は駅に隣接する民間駐車場が他の用途に変更されたと仮定して算出

○路上駐車の状態

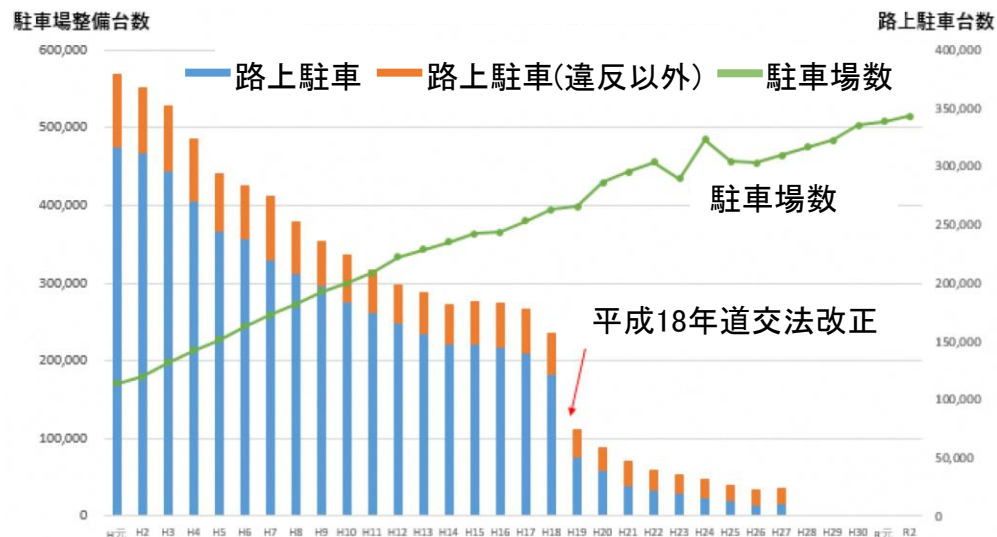
- ・平成18年の道路交通法改正による取り締まり強化
- ・時間貸しの業態の普及など、周辺の民間駐車場が増加

⇒ 当初の課題であった路上駐車は減少傾向

■ JR茨木駅周辺の駐車場の状況

	平成12年 収容台数	令和4年 収容台数
市営・公的 機関駐車場	153台	163台 (当該駐車場除く)
民間駐車場	105台	628台
合計	258台	791台

■ (参考)大阪府内駐車場数及び路上駐車数



※路上駐車台数 : 大阪の交通白書より(H28年度以降は掲載無し)

※駐車場整備台数 : 国交省の自動車駐車場年報より

➤ 「駐車場の需要と供給」と「路上駐車減少傾向」の状況を踏まえ、
都市計画駐車場を廃止とする。

都市計画説明会

令和5年10月25日
@市役所南館8階中会議室
参加者 : 0名

都市計画法17条に基づく
都市計画案の縦覧・意見書提出

令和5年12月11日～25日
縦覧者 : 0名
意見書 : 0件

都市計画審議会

令和6年1月29日(月)

都市計画変更告示

令和6年2月下旬(予定)